

消防ヒヤリハットデータベース事例情報シート

【事例概要について】



1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリ
2. 体験した事例の名称	三連梯子を修理・調整中、梯子を起梯した際に二連目が滑り落ち手指を挟んだもの。
3. 体験した事例の中心的要素	歪みの出た三連梯子を修理・調整中、2～3m伸梯した状態で掛け金が確実に掛かっておらず、さらに隊員が横さんを握った状態で梯子を起梯したため、二連目が滑り落ち手指を挟んだもの。
4. 体験した事例の原因・理由	掛け金確認の不履行及び修理・調整中であるという気の緩みと集中力の欠如。

【体験した事例の直接的な原因について】



1. 体験した事例の直接的な原因	行動の実行に問題があった。
------------------	---------------

【体験した事例について】



1. 発生日時	平成 19年 5月 24日 午後 3時頃
2. 発生した当時の天候	晴
3. 発生した活動現場	屋外：中消防署の作業室前
4. 体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷した。
5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	重傷の怪我をしていた（させていた）だろう。
6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）	
7. 事例体験時の活動	その他： []
8. （7の活動中） どのような作業中に発生したか	その他：三連はしごの修理・調整中
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した。

10. 事例体験者の属性（回答者は当事者A）

○当事者A	年齢[31]歳、勤続年数[4]年、現場経験年数[3]年、階級[消防士]、同様の活動[初めて]、任務[隊員]
○当事者B	年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[]年、階級[]、同様の活動[]、任務[]
○当事者C	年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[]年、階級[]、同様の活動[]、任務[]
その他 (当事者が4人以上の場合)	

11. 事例発生の経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過1	当事者A	訓練中に不具合の出た三連はしごを地面に寝かせ2～3m伸ばし掛け金部分を修理・調整した。	
経過2	当事者A	修理・調整した三連はしごを縮梯しようと若干梯子を起梯した。	
経過3	当事者A	三連はしごの二連目が滑り落ち受傷。	
経過4			
経過5			
経過6			
経過7			
経過8			
経過9			
経過10			

【その事例発生時の状況について】



○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか？

ヒヤリハットの場合 : ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

たまたま、事故にならなかった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	はい
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	はい
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった（寒かった）。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

--

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

○装備・資機材の対策について

○活動環境の対策について

○指揮・情報伝達の対策について

ヒヤリハット事例

事故内容	第8号車の三連はしごを修理・調整中、2～3m伸梯した状態で掛け金が確実に掛かっておらず、さらに隊員が横さんを握った状態で梯子を起梯したため、二連目が滑り落ち手指を挟んだもの。		
概要及び写真			
発生場所	消防署 ピット室前		
どのような事をしていた	訓練中に不具合の出た三連はしごを修理・調整中に発生した。		
どのような事が起きた	はしごを起こし縮梯しようとした際に、二連目が滑り落ち手指を挟んだもの。		
考えられる原因	掛け金確認の不履行及び集中力の欠如。		
考えられる対策	訓練以外の場面であっても、資器材には常に危険要素が孕んでいるものと認識し、操法どおり慎重に取り扱う。特に、今回の事案は一步間違えると重大な怪我に繋がることから、掛け金確認ははしごを扱う2名で確実に行う。		
作成年月日	平成 19年 5月 26日	作成所属	